

平成23年度版

平成 23 年度  
国立科学博物館 大学パートナーシップ  
入会のご案内



**Partnerships  
with  
Universities**



国立科学博物館



### 国立科学博物館のロゴマークのご紹介

「想像力の入口」

全体の形は、リズムカルな放物線を描き、恐竜やサメの歯、門のように、また、個々の形は、花びらや炎が揺らめきながら広がっていくようにも見えます。このように、このマークは人々にさまざまな想像を促します。



### 国立科学博物館 大学パートナーシップのロゴマークのご紹介

Partnership の頭文字「P」を重ね合わせ、双葉の形をデザインしました。双葉は、力強く伸びていく様子を表しています。大学と国立科学博物館の連携による大学パートナーシップ事業が発展し、学生の科学リテラシーやサイエンスコミュニケーション能力が向上するよう願いを込めています。

# はじめに

---

科学技術と社会が密接不可分な関係になっている今日、日頃から科学技術について興味・関心を持ち、自らの問題として意識していくことは、科学技術の健全な発展のためにも、21世紀を豊かに生きていくためにも必要です。

「国立科学博物館 大学パートナーシップ」事業は、文系・理系を問わずすべての学生の皆様の科学リテラシー向上と豊かな感性の涵養に貢献できると考えています。

当館は「日本列島の自然と私たち」をテーマとする日本館、「地球生命史と人間」をテーマとする地球館の展示を併せると、10,000 m<sup>2</sup>を超える展示面積を有しております。この常設展示におきましては、最新の研究成果を取り入れ、常に新しい情報を提供すべく、随時展示更新を行っております。ご来館いただくたびに新しい発見をしていただけることと思います。

また、毎年多彩な特別展・企画展を開催しており、平成23年度は「恐竜博2011」「宝石サンゴ展」、「日本の化学者展（仮称）」等を開催する予定です。

平成17年度に21大学で始まった本事業は、平成22年度現在では53校にご入会頂き、4月から12月までで、延べ25,000人を超える学生の皆様にご利用頂きました。

平成21年度に実施しました利用者アンケートでも展示、パートナーシップ制度について好評をいただきました。パートナーシップ制度の事業として開催している各種講座についても好評をいただいております。

当館は、今後とも社会に根ざし、社会に支えられ、社会的要請に応える博物館として、大学をはじめとした社会の様々なセクターと連携・協働する博物館を目指していきます。

平成22年度から年会費につきまして千人未満の会費を設定いたしました。新規のご入会、継続のご入会とも是非ご検討くださいますよう、ご案内申し上げます。

平成23年2月

独立行政法人 国立科学博物館



# 1 連携内容

国立科学博物館は、学生数に応じた一定の年会費を納入した入会校の学生の  
ために、次の連携プログラムを用意いたします。

## 1 常設展の無料入館と特別展の 600 円引

入会した大学等の学生は、学生証を提示することにより、以下の施設へ無料で何度  
でも入館(入園)いただけます。

また、授業の一環で学生を引率して来館した教職員の方は、職員証等の提示により  
常設展無料となります。

### ・常設展(無料でご覧いただけます)

- ・国立科学博物館(上野地区・入館料 600 円)
- ・筑波実験植物園(茨城県つくば市・入園料 300 円)
- ・自然教育園(東京都港区・入園料 300 円)

### 平成 23 年度開催予定

### ・企画展(無料でご覧いただけます)

#### 「歴史でみる・日本の医師のつくり方」

平成 23 年 2 月 11 日(祝・金)～4 月 10 日(日)

#### 「宝石サンゴ展ー深海からのおくりものー」

平成 23 年 3 月 19 日(土)～5 月 29 日(日)

#### 日本の科学者技術者展シリーズ「日本の化学者展(仮称)」

平成 23 年 9 月中旬～12 月上旬(予定)

#### 「ノーベル賞 110 周年記念展」

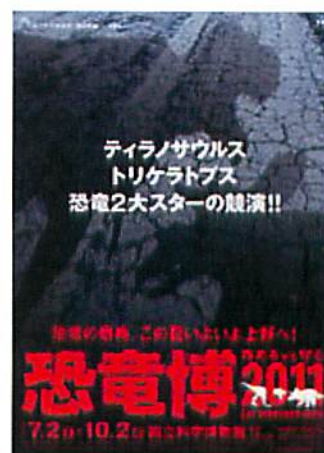
平成 23 年 11 月 1 日(火)～24 年 1 月 22 日(日)

### ・特別展(600 円引きにてご覧いただけます)

※特別展によって 600 円引きにならない場合があります。

#### 「恐竜博 2011ー攻めるvs守るー」

平成 23 年 7 月 2 日(土)～10 月 2 日(日)



## 2 サイエンスコミュニケーター養成実践講座開講

科学技術と一般社会との架け橋となるサイエンスコミュニケーター養成のための実践講座を開講します。

・入会大学の学生を優先的に受入れます。

・受講料通常 60,000 円のところ 30,000 円で受講いただけます。

※対象は理系の大学院生です。※7月開講予定。募集要項は4月頃に発表予定です。

※当講座を大学の教育課程に応じ大学の授業科目として行い、単位認定することも可能です。

※SC1を受講する筑波大学の大学院生は、大学院共通科目「サイエンスコミュニケーター養成実践講座」を履修申請することにより、東京工芸大学の大学院生は、大学院工学研究科工業化学専攻「サイエンスコミュニケーター養成実践講座」を履修申請することにより、4単位が認定されます。

### 平成 22 年度実施例

- サイエンスコミュニケーション(SC)1(7~8月)コミュニケーション能力の育成(36コマ)
- サイエンスコミュニケーション(SC)2(10~12月)コーディネーション能力の育成(36コマ)
- サイエンスコミュニケーション(SC)2修了者には、  
「国立科学博物館認定サイエンスコミュニケーター」認定証を授与



SC1: 受講生による展示室でのディスカバリートーク



SC2: 受講生によるサイエンスカフェ

## 3 大学生のための科学技術史講座開講

日本の科学技術史に関して、主に当館の研究者が講師として、様々な分野からアプローチする全6回程度の講座です。

・入会校の学生を優先的に受入れます。

・受講料通常 12,000 円のところ 6,000 円で受講いただけます。

※平成 23 年 9 月より第 2・4 金曜日に実施予定。募集要項は 7 月頃に発表予定です。

### 講義内容一覧(H22年度)

- 第1回 【グローバル化と日本のモノづくり】
- 第2回 【所蔵資料から眺める日本化学史】
- 第3回 【日本の技術革新】
- 第4回 【映像技術の発達】
- 第5回 【飛行機開発研究の愉しみ】
- 第6回 【日本の近代建築】



## 4 大学生のための自然史講座開講

日本列島の自然史について、当館の研究者を中心にさまざまな分野からアプローチする全 15 回程度のリレー式講座を行います。自然史教養的な内容ですので、理工系学部以外の方でも科学や自然史に対する興味の幅を広げることが可能です。

- ・入会校の学生を優先的に受入れます。
- ・受講料通常 30,000 円のところ 15,000 円で受講いただけます。

※平成 23 年 5 月より第 1・3 金曜日に実施予定。募集要項は 3 月頃に発表予定です。  
※当講座を大学の教育課程に応じ大学の授業科目として行い、単位認定することも可能です。

### 講義内容一覧(H22 年度)

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 自然史とは何か         | <input type="checkbox"/> 太陽系・地球の誕生       |
| <input type="checkbox"/> 生命の誕生           | <input type="checkbox"/> 日本列島の生い立ち I～III |
| <input type="checkbox"/> 生き物たちの日本列島 I～VI | <input type="checkbox"/> 様々な生き物と日本人      |
| <input type="checkbox"/> 日本人の形成 I・II     |  |



## 5 学芸員資格取得のための博物館実習

博物館学芸員の資格取得を目指す方のために、調査研究・資料の収集保管について実習を行うコースと、学習支援活動について実習を行う2コースを設けます。

- ・入会大学の学生を優先的に受入れます。
- ・受講料通常 10,000 円のところ 5,000 円で受講いただけます。

\*対象は大学生または大学院生です。

\*募集要項は、例年 1 月頃各大学宛にご案内しています。



(仮剥製の製作実習)



(学習支援プログラムの実演)

## 2 ご利用いただける施設等

### 1 ご利用可能施設



#### 国立科学博物館(上野地区)

所在地 〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

- ・テーマは「自然との共存をめざして」
- ・展示面積 10,900 m<sup>2</sup> 科学系博物館で国内最大規模
- ・斬新な手法で良質のコレクションを多数展示
- ・平成 19 年度, 日本館オープン
- ・平成 20 年度, 日本館が重要文化財に指定



#### 附属自然教育園

所在地 〒108-0071 東京都港区白金台 5-21-5

- ・園全域が天然記念物に指定
- ・学生, 教員を対象とした研究者が伝える「自然を見る眼」(生態実習)等を実施



#### 筑波実験植物園

所在地 〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

- ・園内で観察できる植物は約3千種類
- ・様々な学習支援活動や天体観望を実施

## 3 入会手続

### 1 申込単位

大学, 短期大学, 専修学校(専門課程)及びそれらを設置する法人を単位とした申込になります。なお, 学部での申込については, ご相談に応じます。

### 2 会員証

入会した大学・学生には, 「国立科学博物館 大学パートナーシップ会員証」を発行いたします。

### 3 会員期間

「国立科学博物館 大学パートナーシップ会員証」を発行した日から平成 24 年 3 月 31 日(土)までとします。

### 4 年会費

年会費は以下の表のとおりです。

	1千人未満	1千人以上 2千人未満	2千人以上 5千人未満	5千人以上 1万人未満	1万人以上 5万人未満	5万人以上
新規	15万円	20万円	25万円	45万円	90万円	140万円
継続	13万円	18万円	23万円	40万円	80万円	125万円

※学生数には, 大学院生, 通信制課程, 科目履修生等を含むことができます。

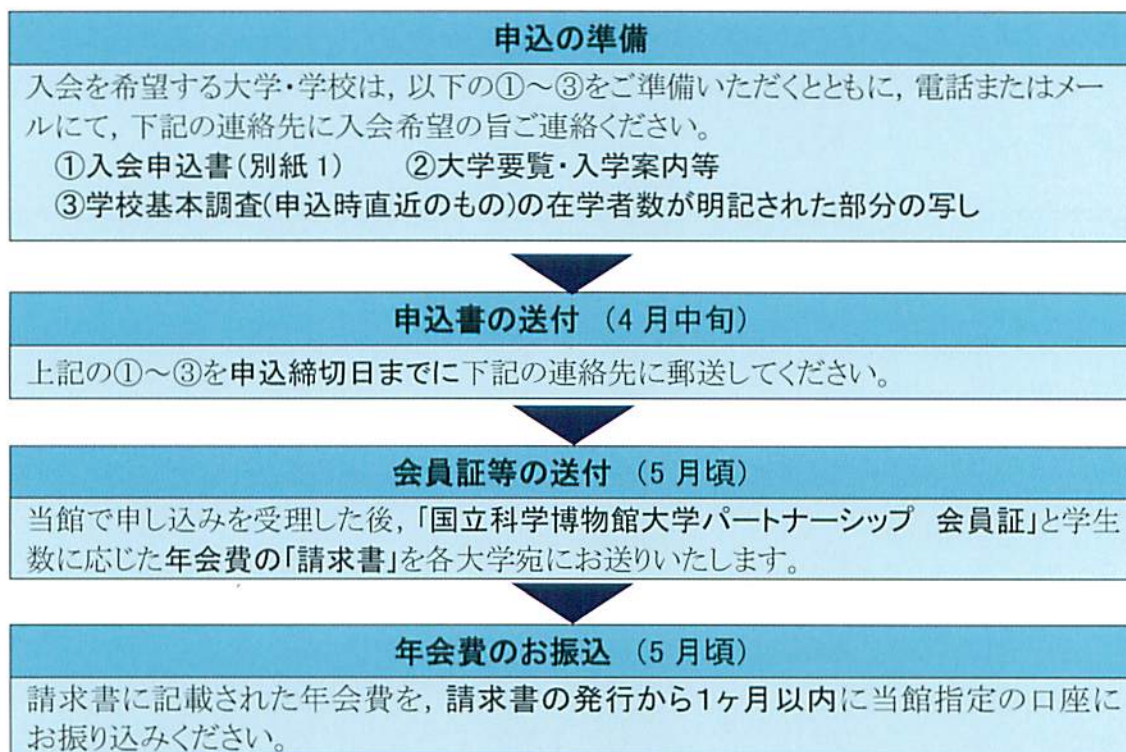
※学生数は, 申込時直近の学校基本調査(文部科学省指定統計)に基づく在学者数とします。

※「継続」の会費は, 連続して2年以上ご入会いただいた場合の2年目のご入会から適用します。

※新規入会に限り, 年度途中の入会にかかる当該年度末までの会費については別表の該当する年会費を12で除して得た額(その額に100円未満の端数が生じたときは100円に切り上げた額)に入会日の属する月から当該年度末までの月数を乗じて得た額とします。



## 5 申込手順



## 6 申込締切日

### 継続申込の場合 平成23年4月15日(金)まで

※在學生への無料入館等の便宜を図るため、3月末日までに電話等で継続申込のご連絡をいただければ、在學生は、4月1日から無料入館等可能です。

※年会費の振込時期等につきましては別途ご相談を承ります。

### 新規申込の場合 平成23年3月23日(水)まで

※会員証が発行された日から学生の無料入館等が可能になります。

※入会を希望される大学は、早めのお申し込みをお奨めします。

※締切日以降のお申し込みにつきましては、別途ご相談を承ります。

## 7 本件お問い合わせ先 (ご不明な点がございましたら、お気軽にお尋ねください)

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20 独立行政法人国立科学博物館  
事業推進部 学習企画・調整課 「国立科学博物館 大学パートナーシップ」担当  
電話 03-5814-9876 FAX 03-5814-9898 e-mail upartner@kahaku.go.jp  
\* 当館ウェブサイト(<http://www.kahaku.go.jp>)でも、本制度を紹介しております。

## 利用者の声

---

### 「国立科学博物館 大学パートナーシップ」利用者の声

本制度を利用して当館を利用された学生の方を対象としたアンケートでは、制度及び展示等に対するご好評を多数いただきました。その一例をご紹介します。

パートナーシップによる特典は、大変魅力的だと思います。私はあまり科学に興味がなく、今回初めて来館したのですが、科学をより身近に感じるきっかけとなりました。

(学習院大学 女性)

とても良いと思います。学芸員を志望しているものとしては、こういう制度があるのはとても助かります。(成蹊大学文学部 女性)

教科書や参考書でしか見たことがなかったものが、実際に研究に使われていることを実感することができて、良い経験ができた。(中央大学理工学部 男性)

シアター360がとても面白かったです。あと地球館・日本館の自然に関係しているコーナーは何度訪れても何時間でもずっと楽しめます。一つ一つの情報量がとても多いので毎回発見があるところがとてもいいと思いました。(東京藝術大学 女性)

日本のことがいろいろ知れた。もともと文系なので科学系はほとんど興味なかったのですが、展示がすごくハイテクで(タッチパネルなど)、また触れる体験型のもあっておもしろかった。視聴覚に訴える様々な展示のアイデアが良い。(上智大学 女性)

多種多様な展示物に触れることで、あらゆる分野を学習することができたので、とても有意義な時間を過ごせたと感じています。(青山学院大学 男性)

平成22年度の本制度利用者数は、12月時点で延べ25,000名を超えました。また、上記感想にみられるよう、文系・理系を問わず多くの方からご好評を頂いております。

すべての学生の科学リテラシー向上に資するという、本制度の趣旨をご理解頂き、ぜひともご入会下さいますようお願い申し上げます。

また、積極的利活用について学生便覧等でご紹介いただけると幸いです。

## 国立科学博物館 大学パートナーシップ入会申込書

平成 年 月 日

独立行政法人国立科学博物館長 殿

国立科学博物館 大学パートナーシップに下記のとおり申し込みます。

フリガナ			
大学名・学校名			
フリガナ			
学長名・校長名			印
種別 ※該当する□にチェックを入れてください	□大学 □短期大学 □専修学校(専門課程) □その他( )		
学生数	人 (平成 年 月 日現在)		
年会費	円		
事務担当	所属部課		
	フリガナ 氏名		
	所在地	〒	
	連絡先	TEL	FAX
	E-mail		
ホームページアドレス	※当館ホームページから大学パートナーシップ校としてリンクしてよければご記入下さい (または昨年度からの変更があればご記入ください)		
その他連絡先	※上記以外に、企画展・特別展、各種講座等のご案内先があればご記入下さい		

この入会申込書に、以下の3点を添えて国立科学博物館事業推進部学習企画・調整課へ送付下さい。

- 1 学生証の見本(カラーコピーも可)
- 2 学校基本調査(お申込日現在における直近のもの)の、在学者数が明記された部分の写し  
※対象となる学生の区分(聴講生等)が全て明記しているもの
- 3 学校要覧・入学案内等